

KUBOTEK®

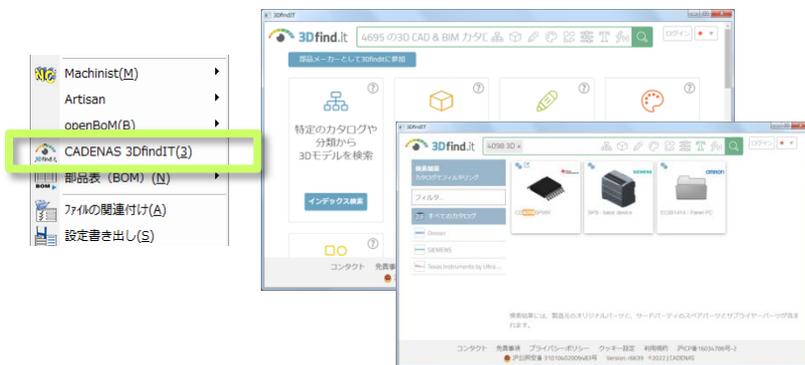
KEYCREATOR®  
Unconstrained CAD/CAM

What's NEW in  
**2022 SP2**

NEW

## Webカタログ「CADENAS 3DfindIT機能」

- ツールの新メニュー3DfindIT機能では、CADENAS産業用Webカタログから2D/3Dデータに直接アクセスできます。



- KeyCreator内から登録できない場合は、下記サイトから登録してください。  
<https://www.3dfindit.com>

NEW

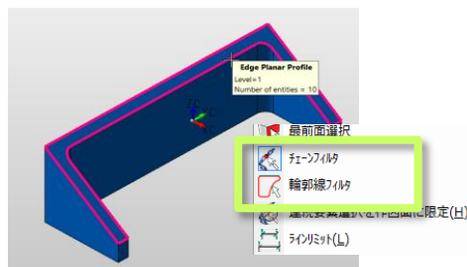
## JTファイルの読み込みで新たにメッシュがサポートされました

- メッシュをシェル要素として読み込みます。

NEW

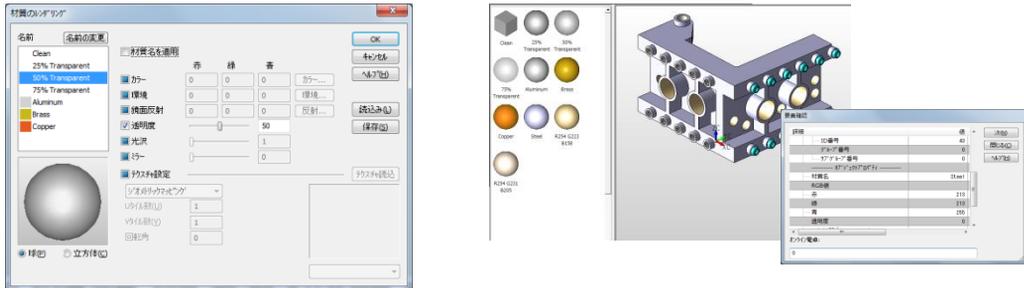
## 「輪郭線フィルタ」が追加、「チェーンフィルタ」に改名

- 平面上の閉じた境界曲線をワンクリックで素早く選択できる「輪郭線フィルタ」が追加され、「クイックチェーン」は「チェーンフィルタ」に改名しました。
- 輪郭線フィルタは、編集:システム設定に追加されました。デフォルトはオフです。押し出しやスイープタイプのコマンドに最適です。
- 輪郭線フィルタがオンの時でも[Shift]キーを押しながら閉じたプロファイルを指示すると、単一で選択できます。
- 開いているプロファイル(連続線)の選択は「チェーンフィルタ」を使用してください。



# 材質/RGBカラーが改良

- パーツプリッタで材質/RGBを編集して、その材質に割り当てられているすべての面／ソリッド／シェルを更新できるようになりました。
- 材質／RGBカラーの[材質名を適用]オプションにより、材質属性を適用するかどうか、またはいつ適用するかを決定できます。



- 変更が一時的な場合、または属性が不要で視覚的影響のみの場合の材質/RGBカラーの[新規材質作成]オプションを追加しました。



- 材質/RGBカラーのダイアログが拡張され、材質のプレビューが表示されるようになりました。

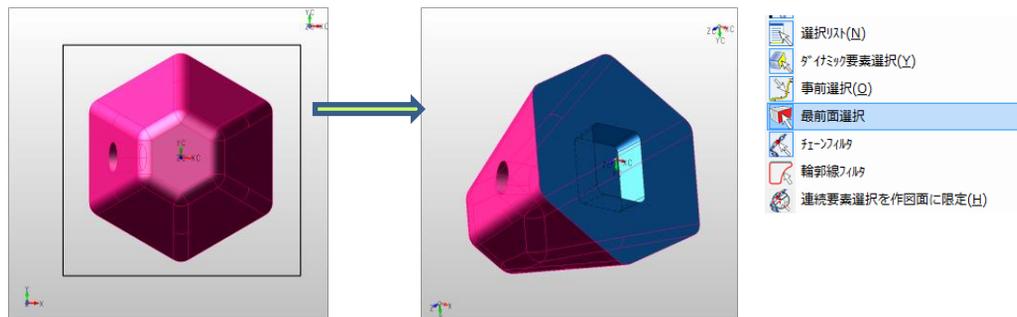


- ブーリアン論理差は、差を取るソリッドから材質/RGBカラーを適用するようになりました。

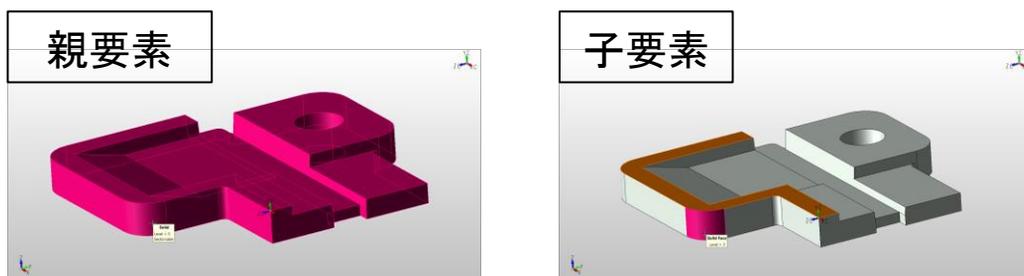


## 選択に関連する改良

- ダイナミック要素選択のツールチップは、選択タイプ、要素の数など詳細情報を表示します。
- 最前面選択をオンに設定し、ビュー1でウィンドウ選択した場合、裏側は選択されません。

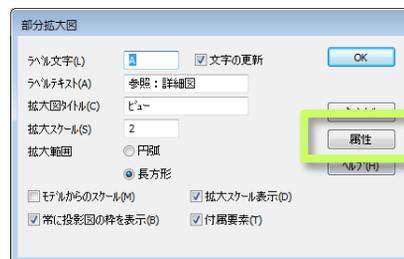


- 合成要素の解除は、要素単位でダイナミック選択をします。
- 要素選択において、子要素よりも親要素を優先的に選択するように改良しました。



## レイアウト: 部分拡大図 に属性ボタンが追加

- 部分拡大図の作成中に属性を設定できます。



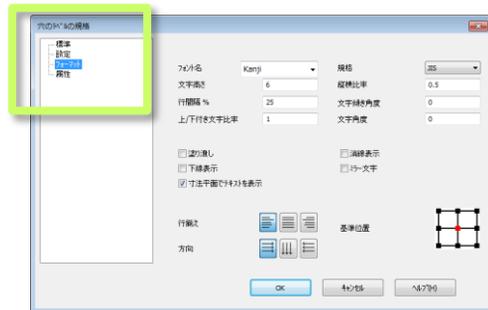
## 穴の自動ラベルの編集に新しく[フォーマット]が追加

- 穴の自動ラベルの編集に新しく[フォーマット]が追加され、テキストスタイルをすばやく変更できるようになりました。

### 自動ラベルを実行した時の[規格]ボタン



### 汎用編集(コンテキストメニューによる汎用編集)

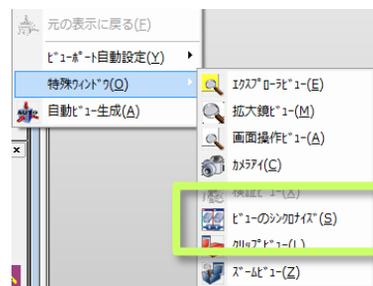
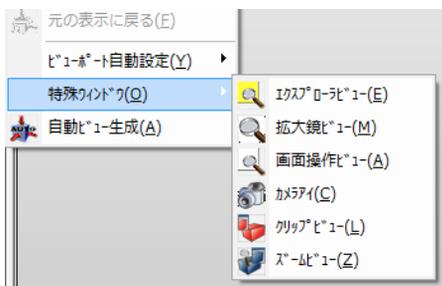


## ワッシャの基準位置を変更

- ツール:締結要素:ワッシャをソリッドで使用する場合、配置の基準位置はデフォルトでワッシャの底部に変更しました。

## ユーザインターフェースの改良

- 特殊ウィンドウにあった検証ビューとビューのシンクロナイズを削除しました。



# データ変換の対応バージョン KC 2022 SP2

- 本バージョンよりWindow7でCATIAV5の入出力はできません

ファイル形式	データ変換	サポートバージョン	アセンブリファイル
ACIS	読み込み	1.5 - <b>R2022</b>	NO
	書出し	1.5 - <b>R2022</b>	NO
DWG/DXF	読み込み	2021までの全バージョン	NO
	書出し	R12 - 2021	NO
IGES Geometry	読み込み	5.3まで	YES
	書出し	5.3	YES
STEP	読み込み & 書出し	AP203, AP214, AP242	YES
Parasolid	読み込み	10.0 - <b>34.0</b>	YES
	書出し	12.0 - <b>34.0</b>	YES
Solidworks	読み込み (Geometry)	98 - 2021	YES
	読み込み (Drawing)	99 - 2021	—
	PMI* <sup>1</sup>	97 - 2021	—
Autodesk Inventor	読み込み	Part Files: 6 - <b>2022</b>	—
		Assembly Files: 11 - <b>2022</b>	YES
CATIA V4	読み込み (Geometry)	4.1.9 - 4.2.4	NO
	書出し (Geometry)	4.1.9 - 4.2.4	NO
	読み込み (Drawing)	4.1.5 - 4.2.4	—
	PMI	4.2.5まで	—
CATIA V5	読み込み (Geometry)	V5 R8 - V5 <b>R32</b> * <sup>2</sup>	YES
	書出し (Geometry)	V5 R15 - V5 <b>R32</b> * <sup>2</sup>	YES
	読み込み (Drawing)	V5 R7 - V5 <b>R32</b> * <sup>2</sup>	—
	PMI	V5 R4 - V5 R31* <sup>2</sup>	—
PTC Creo (Pro/E)	読み込み (Geometry)	Pro/E 16 - 2001, Wildfire 1 - 5, Creo 1.0 - <b>8.0</b>	YES
	読み込み (Drawing)	Pro/E 2000i - 2001, Wildfire 1 - 5, Creo 1.0 - <b>8.0</b>	—
	PMI	Wildfire 5まで, Creo 1.0 - <b>8.0</b>	—
Siemens / NX	読み込み (Geometry)	11 - 18, <b>NX1980</b> まで	YES
	読み込み (Drawing)	<b>NX2007シリーズ</b> (NX2015まで)	—
	PMI	UG V11 から <b>NX1980</b>	—
JT	読み込み (Geometry)	8.x, 9.x, 10, 10.2, 10.3, 10.5	—
Solid Edge	読み込み (Geometry)	V18(2006) - <b>2022</b>	YES
	読み込み (Drawing)	ST10, <b>2022</b>	—
IFC	読み込み	2x3, 2x4, 4	—

**\*1: PMIの注意:** PMIのサポートは現在visual PMIのみに限定されています  
Dim Xpert モジュールで作成されたPMIは現在、バージョン2014以降でサポートされています  
PMIのサポートはSolidWorks eDrawingsでのPMIサポートと同等です

**\*2: CATIA V5の注意:** V5 R31は、V5-6 R2021 または R2021x として知られています  
V5 R32は、V5-6 R2022 または R2022x として知られています